

建設部

実施計画事業

令和 8 年度 事務事業等の総点検

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
------	----	------	----	-------	----	---------	----

分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務
----	--

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにに行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
--	---------	-------	-------	-------	----

① 各種交通安全教室の開催	全実施回数	158	153	144	回
---------------	-------	-----	-----	-----	---

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
-----	-----------	-----------	-----------	-----------	----

a 事業費（予算現額・支出済額）	1,874	1,867	3,809	4,007	千円
------------------	-------	-------	-------	-------	----

各種方言の方言の解説	総経費：1000
------------	----------

[illegible]

・子どもや高齢者が安全に道路を通行するための知識を得ることができる交通安全教育は、交通事故の発生を抑制し、特に自転車は道交法の改正に対応する必要があり、市民が安心し

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	12	説明資料	26	項目番号	2(3)
事務事業名	交通安全普及啓発事業								所管部課名	建設部		
										建設総務課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	交通安全対策基本法第4条、第38条						
実施計画	大柱	地域で支え合う福祉のまちの再興				分野別計画	
	中柱	安全・安心のまちづくり					
	小柱						
目標	交通安全運動（年間運動、各季の運動等）のほか各種事業の実施により、運転者や児童、地域の人たちなどへの交通安全思想の普及啓発活動を展開し、交通事故のない市民が安心して暮らせるまちづくりを推進する。						
目標達成に必要なこと	警察をはじめとする関係機関や関係団体、地域と連携協力しての継続的な交通安全活動の実施。						
具体的な事業内容	(1)年間及び各季交通安全運動 (2)交通安全通学用帽子（新入学児童黄色い帽子）の配布 (3)小中学生交通安全ポスターコンクール (4)交通安全教育グレースボール大会（高齢者が参加するイベント） (5)スクール・ゾーン電柱巻標識の設置						

(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① スクール・ゾーン電柱巻標識の設置	設置数	285	175	120	組
その他の活動実績	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
② 交通安全通学用帽子(新入学児童黄色い帽子)の配布	配布数	2,600	2,406	1,215	個
③ 小中学生交通安全ポスターコンクールの実施	応募数	941	818	633	点

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,029	3,699	3,454	3,985	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	2,101	1,559	1,059	1,408	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	1,928	2,140	2,395	2,577	千円
b 人件費	9,236	9,428	9,826	9,738	千円
正規職員	1.1	1.1	1.1	1.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	13,265	13,127	13,280	13,723	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	特になし
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	・令和7年度予算では、既設箇所を更新140組・新設20組(計160組)を想定して予算措置をした。予算執行にあたっては設置効果が乏しいと見込まれる箇所を更新対象から除外するなど実施箇所の精査を行った結果、更新117組・新設3組(計120組)となった。 このため、令和6年度と比較して55組減となり、令和7年度決算額も減となった。		
今後の事業 の方向性	・交通事故発生件数は、令和3年からの4年間は年間約1,000～1,150件で推移していたが、令和7年は979件となった。 ・交通安全は、より安全で安心のできる社会の実現を図るうえでの重要な課題の一つである。関係機関や関係団体、地域との連携協力による交通安全の普及啓発のための取り組みは、子どもや高齢者を事故から守るために不可欠であり、維持継続していくが、スクール・ゾーン電柱巻標識は、路側帯の緑色舗装普及に伴い役割が終了したと考えられるため、令和7年度で事業を廃止することとなった。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業		会計	一般会計		款	9	項	2	目	1	説明資料	33	項目番号	7
事務事業名	地籍調査事業										所管部課名	建設部		
												土木用地課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務						
根拠法令	国土調査法						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱						
目標	土地の所有者、地番、地目、境界、地積に関する調査を行い、地籍の明確化を図ることにより、土地境界に関するトラブルの未然防止、土地取引や公共事業の円滑化、土地への課税の適正化、地震や津波被害が発生した際の復旧作業の迅速化等に寄与することを目指す。						
目標達成に必要なこと	・県の施策や、国の方針をふまえて事業計画を策定し、県補助金を確実に取得しつつ事業を推進していく。 ・調査対象の土地所有者等の協力が不可欠なので、事業の必要性や効果について丁寧に説明し、理解を得ていく。						
具体的な事業内容	関係資料の調査や、土地所有者等との現地調査により、各土地の地番、地目、境界を調査し、面積を測量し、それらの結果を地籍簿、地籍図にまとめる。 地籍簿、地籍図は、県の認証、国の承認手続きを得た後に法務局へ送付され、それに基づき不動産登記法に定められている地図が備え付けられる。成果については、その後も一般の閲覧に供しなければならないため、土木用地課内で管理していく。						

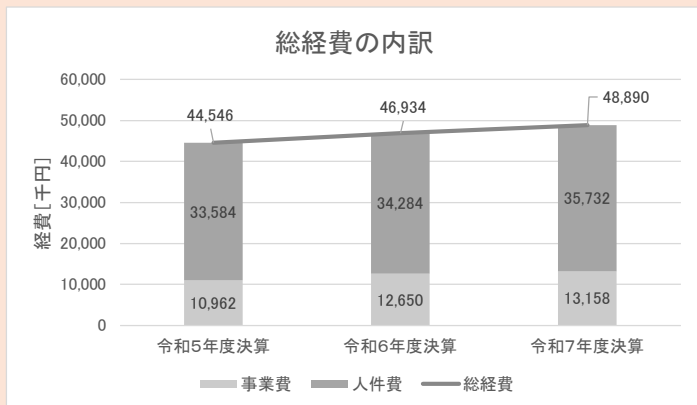
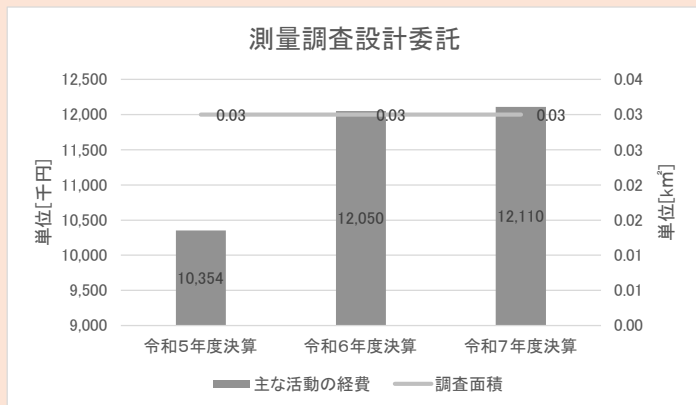
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 測量調査設計委託	調査面積	0.03	0.03	0.03	km ²
その他の活動実績	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	10,962	12,650	13,158	13,178	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	10,354	12,050	12,110	12,110	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	608	600	1,048	1,068	千円
b 人件費	33,584	34,284	35,732	35,412	千円
正規職員	4.0	4.0	4.0	4.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	44,546	46,934	48,890	48,590	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	大きな変更点は特になし。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	大きな変更点は特になし。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	事業費、特に測量調査設計委託にかかる経費は、人件費や、調査地区面積、地形、筆数(土地の数)などによって増減する。		
今後の事業 の方向性	当面は、相模湾沿岸など、大規模地震発生時の津波被害想定地区において引き続き事業を推進していく予定。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

(1) 事務事業の概要							
支出分類	事業名称	財源構成	予算	実行状況	進捗	事業終了の月日	備考

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						

根拠法令	道路法第42条		
実施計画	大柱	経済・産業の再興	分野別計画
	中柱	都市基盤の整備	
	小柱		
目標	市が管理する360橋について、5年ごとに定期点検を実施し、計画的な維持修繕工事を実施することで長期的なコスト削減を図るとともに平常時及び緊急時の安全な通行を確保する。		
目標達成に必要なこと	定期点検結果をもとに、新技術の検討も含め長寿命化修繕計画を更新することで、国庫補助を取得し確実に事業を実施するとともに、簡易な修繕工事についても計画的に修繕工事を実施する。		
具体的な事業内容	(1)橋りょう修繕工事:断面修復工、ひび割れ対策工、剥落防止対策工、伸縮装置取替工、橋面防水工、地覆補修工、高欄取替工 (2)橋りょう補強工事:縁端拡幅工、横変位制限装置設置工 ※橋りょう架替工(老朽化が著しく、補修工事よりもランニングコストが安くなる場合)及び橋りょう撤去工(集約化により費用の縮減を図る)として実施する場合は事業替えを行う。		

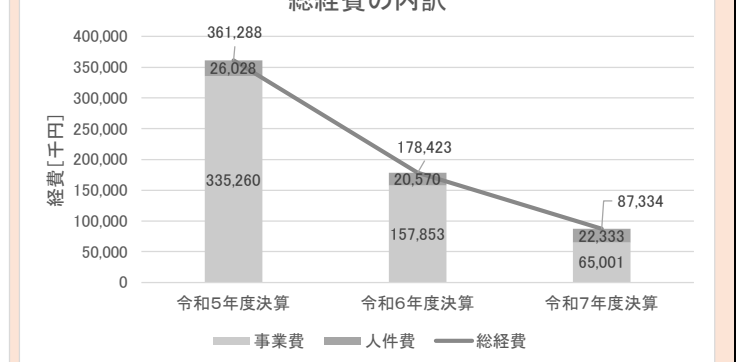
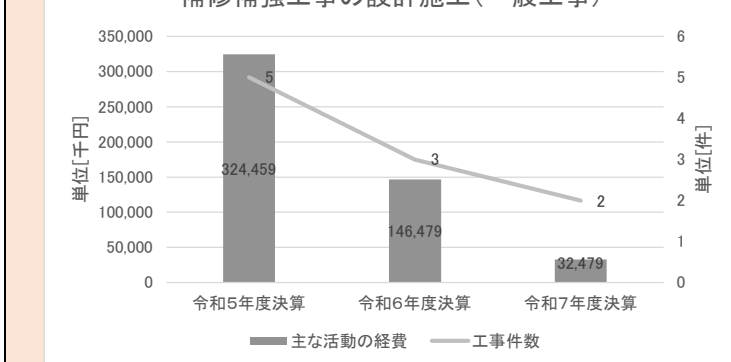
主な活動又は活動効果(目標を達成するためにに行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
--	---------	-------	-------	-------	----

① 補修補強工事の設計施工（一般工事）	工事件数	5	3	2	件
その他の活動実績	活動（指標）名	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位
② 測量調査設計委託	業務件数	2	2	2	件
③ 長寿命化修繕計画	業務件数			1	件

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
-----	-----------	-----------	-----------	-----------	----

a	事業費（予算現額・支出済額）	335,260	157,853	65,001	138,204	千円
	主な活動の経費（※上記(2)①）	324,459	146,479	32,479	37,682	千円
	その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	10,801	11,374	32,522	100,522	千円
b	人件費	26,028	20,570	22,333	25,674	千円
	正規職員	3.1	2.4	2.5	2.9	人
	再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
	会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
	総経費（a + b）	361,288	178,423	87,334	163,878	千円

補修補強工事の設計施工(一般工事)	総経費の内訳
-------------------	--------



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	令和5年度は工事として令和3年度事故繰越1橋(補助)、令和4年度繰越2橋(補助)、令和5年度分2橋、委託として2橋(補助)を実施した。令和6年度は工事として令和5年度繰越分2橋(補助)、令和6年度分1橋、委託として令和5年度繰越分2橋(うち1橋補助)を実施した。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	令和6年度は工事として、令和5年度繰越2橋(補助)、令和6年度分1橋、委託として令和5年度繰越2橋(補助)を実施した。令和7年度は工事として令和6年度繰越分1橋(補助)、令和7年度分1橋、委託として令和6年度繰越分2橋(補助)及び長寿命化修繕計画の更新を実施した。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	令和7年度は令和6年度国庫補正により当初予定業務を前倒しするとともに工事件数の減少により予算額が大幅に減少している。決算においても令和7年度に予定していた堀の内跨線人道橋修繕工事を令和8年度に繰越したため決算額が減少している。事業の金額の増減は橋りょうの規模、及び工事内容により違うため、ある程度平準化できるように調整している。人件費は道路補修課各事業間での人員配分にあたり、年度毎の各事業の事業量に合わせ増減している。		
今後の事業 の方向性	5年に一度実施する定期点検は、令和6年度に2巡目の定期点検が終了し、健全度Ⅲ判定の修繕工事は令和10年度に完了する見込みである。今後も点検結果により健全度Ⅲと判定された橋りょうの補修補強を実施していく。別途令和8年度より5か年で国土強靱化実施中期計画により、緊急輸送道路上の橋りょう耐震化が対象となり、未耐震化の5橋について実施していく。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	2	目	2	説明資料	38	項目番号	2(3)
事務事業名	主要道路計画修繕事業								所管部課名	建設部		
										道路整備課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	道路法第42条						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱						
目標	市が管理する重要な57路線約98kmについて、道路の現状を把握したうえで、適時に補修工事を実施することにより、平常時及び災害時の良好な通行と安全性を確保する。						
目標達成に必要なこと	定期点検結果をもとに、新技術の検討も含め舗装管理計画を更新し、工事が必要な区間については、FWD調査（舗装構造調査）により補修方法を確定させ国庫補助を取得する。						
具体的な事業内容	市が管理する重要な57路線約98kmについて、5年に1度の路面性状調査の実施による舗装管理計画の更新。 優先順位の高い区間についてFWD調査を実施し、その結果を基に国庫補助を取得したうえで舗装補修工事を実施。						

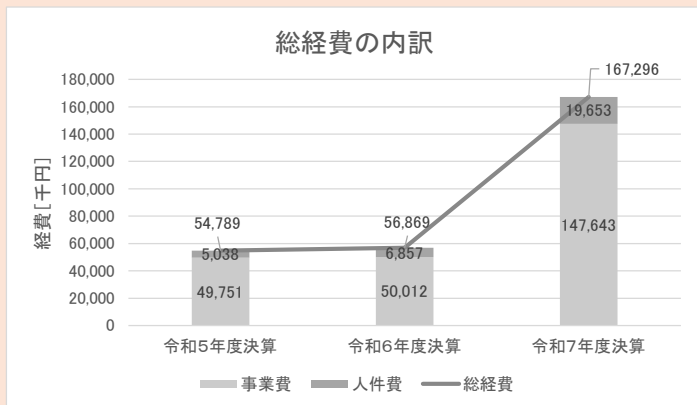
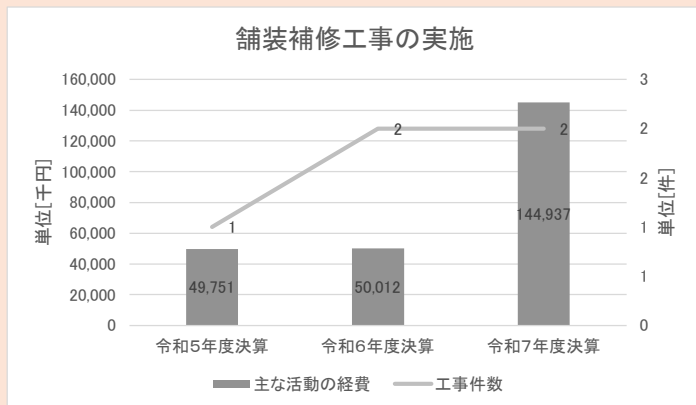
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 舗装補修工事の実施	工事件数	1	2	2	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
② 舗装長寿命化修繕計画	業務件数			1	件
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	49,751	50,012	147,643	180,340	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	49,751	50,012	144,937	177,634	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	0	0	2,706	2,706	千円
b 人件費	5,038	6,857	19,653	15,935	千円
正規職員	0.6	0.8	2.2	1.8	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	54,789	56,869	167,296	196,275	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	令和6年度は、先送りした市道佐島港線を補正で前倒し申請し実施するとともに、令和6年度補助内示率が低く補助工事業実施が困難となり先送りし、単独分の余剰金を活用し市道1627号ほか舗装道補修工事を実施した。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	令和7年度は、補正で野比北武線2件を前倒し申請し満額内示となった。ところが、令和8年度予定箇所は調査の結果補助対象外となったため、浦賀野比線を追加し2件実施した。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	本事業の国庫補助は、重点事業とされていないため、内示率が低く(全体で30～40%程度)、規模を縮小し実施している。例年国の追加補正は内示率が高い傾向が続いており令和6年度の追加補正では2か年分の申請を行い承認を得たため、令和7年度予算では工事の計上を見送っている。今後も補正を活用し、国庫補助獲得を行っていく。 令和7年度決算では上記の2か年分に加え、野比北武線については、補助工事と併せて実施することにより効果が得られる場合に適用できる公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業)も活用したため、決算が増加している。 工事件数(延長): 令和5年度1件(201m)、令和6年度2件(437m)、令和7年度2件(770m)		
今後の事業の方向性	市が管理する重要な57路線約98kmについて、良好な状態に保ち平常時及び災害時の安全性を確保するため、永続的に事業の継続が必要である。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	2	目	2	説明資料	43	項目番号	6
事務事業名	自転車等駐車場維持管理事業								所管部課名	建設部		
										建設総務課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、自転車等の放置防止に関する条例						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱	①追浜駅周辺のまちづくり					
目標	駅周辺における自転車等の放置を防止し、通行の安全を確保する。						
目標達成に必要なこと	継続的な放置自転車等の整理・指導を行い、放置対策として自転車等駐車場の整備・拡充を実施する。また、施設管理を行う指定管理者を適切に指導・監督する。						
具体的な事業内容	(1)自転車等駐車場の維持管理 ①自転車等駐車場指定管理者に対する指揮、監督 ②自転車等駐車場用地の借上げ、占用及び使用許可申請 ③無料自転車等駐車場の維持管理						

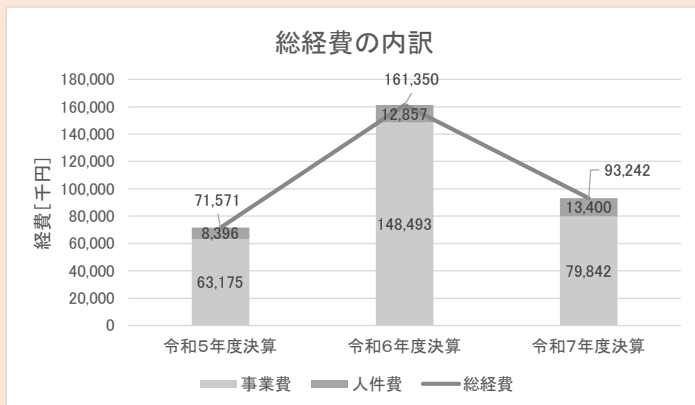
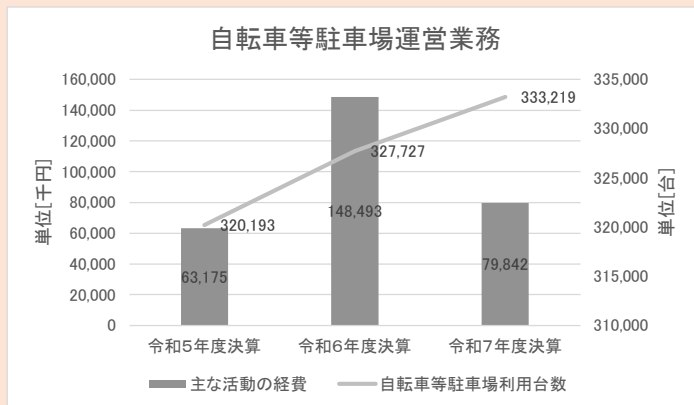
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動（指標）名	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位
① 自転車等駐車場運営業務	自転車等駐車場利用台数	320,193	327,727	333,219	台
その他の活動実績	活動（指標）名	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位
② 自転車等駐車場運営業務	利用料金	179,005	180,821	178,154	千円
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	63,175	148,493	79,842	104,304	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	63,175	148,493	79,842	104,304	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	0	0	0	0	千円
b 人件費	8,396	12,857	13,400	13,280	千円
正規職員	1.0	1.5	1.5	1.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	71,571	161,350	93,242	117,584	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	(1) 自転車等駐車場券売機6台購入 (2) 自転車等駐車場定期更新機4台購入	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	指定管理者の変更
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	【令和5年度】新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、徐々に利用者が戻りつつある。追浜駅第2自転車等駐車場において、外壁等の大規模な修繕の前払金が発生したため、令和4年度と比較し、決算が増額となっている。 【令和6年度】令和5年度ほどではないが、新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、利用者が増加している。追浜駅第2自転車等駐車場の大規模修繕の竣工金、券売機及び定期更新機の購入により、決算が増額となっている。 【令和7年度】一時利用者は増加しているが、定期利用者が減少しているため、利用料金収入が低下している。前年に機械を導入し、人員配置を抑え経費を削減した効果もあり、指定管理者負担金が発生することとなった。		
今後の事業 の方向性	新型コロナウイルス感染症以降、利用者が大幅に減少し、利用料金収入が指定管理者の管理経費を上回ることにはなかったが、令和6年度に券売機及び定期更新機を導入し、人員配置を抑えた仕様書により令和7年度から新規指定管理者の運営を開始し、結果、指定管理者負担金が発生した。今後とも管理経費を抑えつつ、利用者へのサービス水準を落とさない自転車等駐車場の運営を目指していく。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	2	目	3	説明資料	45	項目番号	1
事務事業名	スマートインターチェンジ整備事業								所管部課名	建設部		
										道路整備課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	道路法、高速道路機構法						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱	⑤西地区の活性化					
目標	スマートインターチェンジ整備により、本市西地域住民の横浜横須賀道路へのアクセス向上や、観光振興への寄与、水産業の輸送支援、救命救急サービスの向上、防災機能の向上を目指す。						
目標達成に必要なこと	・地区協議会の開催(事業内容の変更、工事の開始報告、開通後のフォローアップ等)と地区協議会会員の承認						
具体的な事業内容	・横須賀パーキングエリア付近に上り線オンランプ及び下り線オンランプを整備する。 ・実施にあたっては、東日本高速道路㈱と協定書を締結し、測量・設計・工事を行う。						

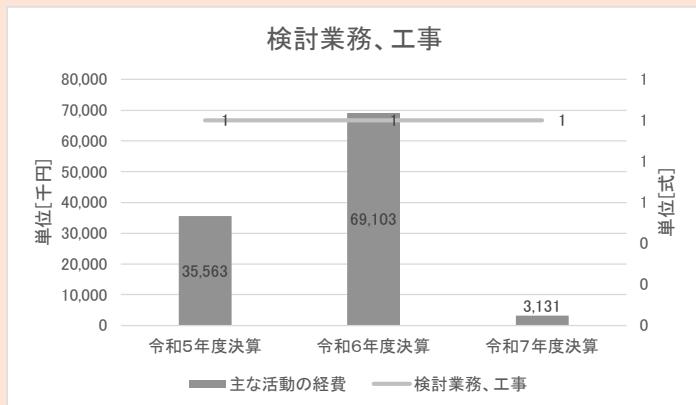
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 検討業務、工事	検討業務、工事	1	1	1	式
その他の活動実績	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	35,563	69,103	3,131	7,400	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	35,563	69,103	3,131	7,400	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	16,792	17,142	17,866	17,706	千円
正規職員	2.0	2.0	2.0	2.0	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	52,355	86,245	20,997	25,106	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	検討業務に伴う関係機関協議 調査測量業務、準備工事	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	用地取得及び第5回地区協議会開催に伴う関係機関協議 準備工事
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	関係機関との協議・調整の状況により、年度ごとに実施可能な業務内容が異なることから、必要経費は変動しているが、協議と並行して先行可能な準備工事を実施するなど、事業進捗への影響の抑制に努めている。 上り線工事の着手に向けて関係機関との協議を継続するとともに、次年度以降に実施を予定していた準備工事を前倒しで実施した。		
今後の事業 の方向性	国土交通省、神奈川県、東日本高速道路(株)及び神奈川県警と協議を実施し事業進捗を図る。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	2	目	3	説明資料	47	項目番号	1
事務事業名	上町坂本線道路改良事業								所管部課名	建設部		
										道路整備課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和12年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	道路法							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画		
	中柱	都市基盤の整備						
	小柱							
目標	本路線は、道路幅員は約5.5mの相互通行の車道で、歩行者用路側帯の幅が約1.2mと大変狭く、車両がすれ違う際には歩行者用路側帯内に車が侵入し、危険な状況である。そこで、歩行者の安全対策とうわまち病院の移転に合わせた跡地利用を進めるために拡幅して歩車道の整備を行う。							
目標達成に必要なこと	・道路事業用地の取得 ・道路改良工事の実施							
具体的な事業内容	道路整備の実施 【現在の計画案】 延長L＝150m 幅員W＝15m(車道:3.5m×2、歩道:4.0m×2)							

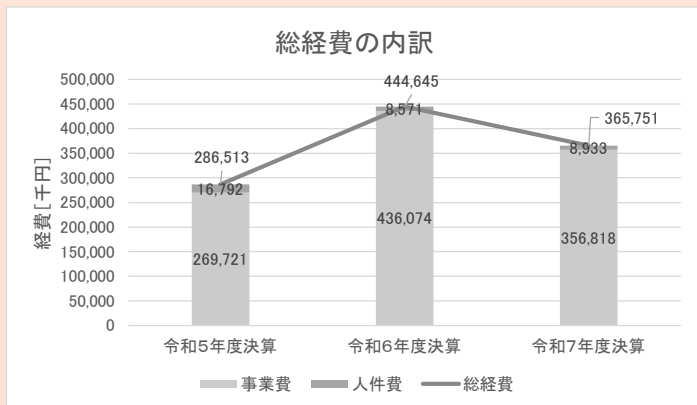
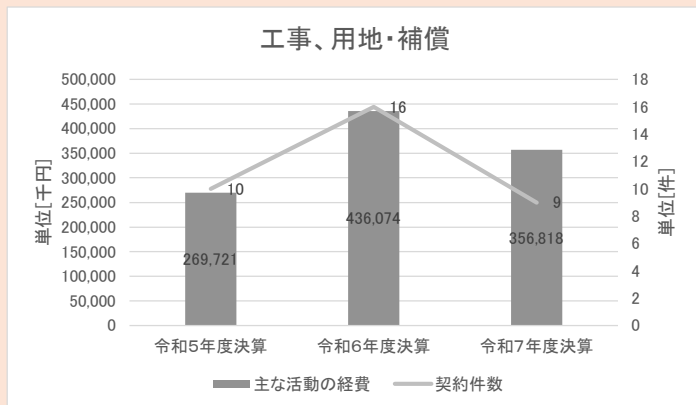
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動（指標）名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 工事、用地・補償	契約件数	10	16	9	件
その他の活動実績	活動（指標）名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
② うわまち整備ニュース配布	作成件数	3	2	0	件
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	269,721	436,074	356,818	413,608	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	269,721	436,074	356,818	413,608	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	16,792	8,571	8,933	8,853	千円
正規職員	2.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	286,513	444,645	365,751	422,461	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	特になし
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	用地取得・補償の進捗状況や契約・支払時期により年度間の必要経費は変動するが、事業の進捗に応じて必要な用地買収、補償及び工事を実施しているものであり、事業進捗への大きな影響はない。 令和5年度： 用地取得4件、補償3件、防塵舗装工事3件 令和6年度： 用地取得4件、補償10件、防塵舗装工事2件 令和7年度： 用地取得2件、補償6件、防塵舗装等工事2件		
今後の事業 の方向性	うわまち病院跡地の大学開学・施設開業時期(令和14年度予定)及び冠水対策工事の実施等を踏まえ、道路改良工事は令和12年度の完成を目指す。 【実績】 事業用地取得率76%、工事進捗率0%、事業全体進捗率71% 【残事業】 用地取得2件、補償2件、歩車道整備工事150m、工事に伴う測量		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	2	目	4	説明資料	49	項目番号	1
事務事業名	セーフティロード事業								所管部課名	建設部		
										道路整備課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	道路法						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱						
目標	交通安全施設を維持・整備することにより、住環境の改善と交通事故の防止を目的とする。						
目標達成に必要なこと	交通安全施設の「設置基準」や「設置できない事例」など、わかりやすい情報提供及び周知の徹底 整備箇所における関係土地所有者等の同意						
具体的な事業内容	交通安全施設の新設及び更新による安全対策の実施 ・道路照明灯、道路反射鏡、車止め、防護柵、道路区画線等						

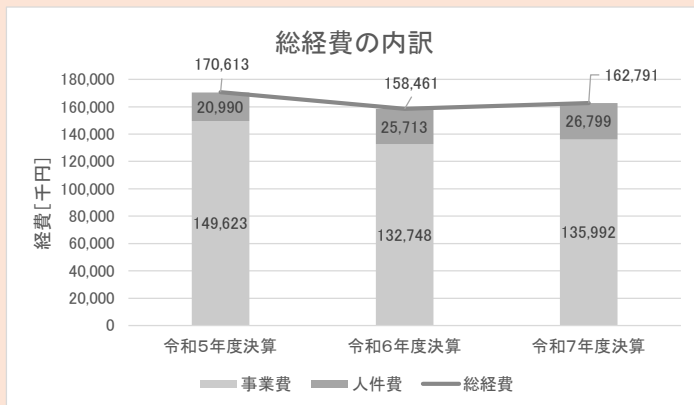
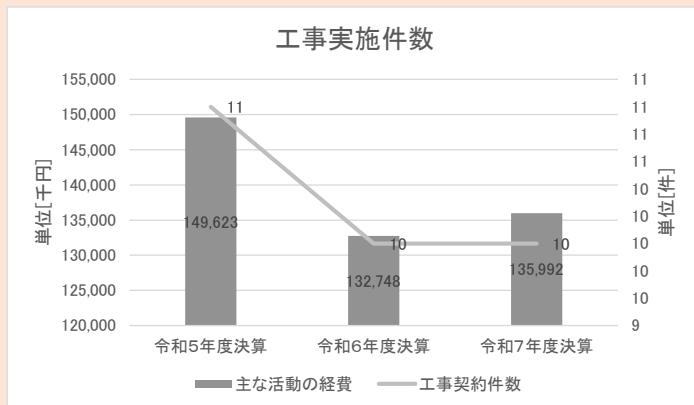
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動（指標）名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 工事実施件数	工事契約件数	11	10	10	件
その他の活動実績	活動（指標）名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	149,623	132,748	135,992	136,329	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	149,623	132,748	135,992	136,329	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	20,990	25,713	26,799	26,559	千円
正規職員	2.5	3.0	3.0	3.0	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	170,613	158,461	162,791	162,888	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	特になし
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	整備箇所や整備数量により年度間の必要経費は変動するが、道路利用者の安全確保に必要な照明灯、防護柵、道路反射鏡及び区画線等について、地域からの要望等を踏まえ、緊急性・必要性等により優先順位を定め、原則として要望受付年度又は翌年度に対策を実施している。 令和5年:道路照明灯 23基、道路反射鏡 34基、防護柵 595m、道路区画線等 1式 令和6年:道路照明灯 10基、道路反射鏡 26基、防護柵 745m、道路区画線等 1式 令和7年:低位置照明灯 73灯、道路照明灯 1基、道路反射鏡 24基、防護柵 786m、道路区画線等 1式		
今後の事業 の方向性	事故発生件数などの定量的データから市全体の交通安全施設の更新計画をたて、計画的に更新していく。 新設についての要望は、内容を精査し、計画に反映させる。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業		会計	一般会計		款	9	項	2	目	4	説明資料	51	項目番号	1
事務事業名	歩行者安全対策事業										所管部課名	建設部		
												道路整備課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	道路法						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱						
目標	通学路危険箇所や事故多発区間の交通安全施設整備による市民や児童の交通安全の確保						
目標達成に必要なこと	通学路合同点検及び交通問題対策部会における対策箇所の合意						
具体的な事業内容	歩行者安全対策 ・カラー舗装、路面標示等 ・交差点のコンパクト化 ・歩車道整備						

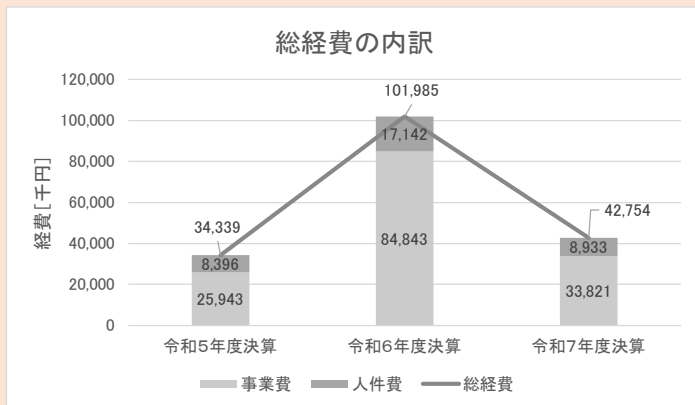
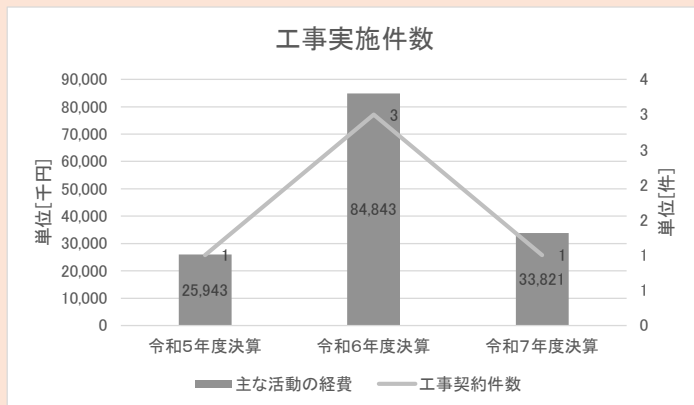
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動（指標）名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 工事実施件数	工事契約件数	1	3	1	件
その他の活動実績	活動（指標）名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	25,943	84,843	33,821	33,821	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	25,943	84,843	33,821	33,821	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	8,396	17,142	8,933	17,706	千円
正規職員	1.0	2.0	1.0	2.0	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	34,339	101,985	42,754	51,527	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R 5 年度⇒R 6 年度	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R 6 年度⇒R 7 年度	・交差点、路側帯カラー化 5学区5路線、交差点改良→9学区15路線 ・歩道整備(総合医療センター関連工事) ・交差点、路側帯カラー化 9学区15路線→7学区11路線 ・歩道整備(南こども園関連工事)
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	施設整備に伴う関連工事の実施時期・施工規模及びカラー舗装等の整備路線数により、年度間の必要経費は変動している。一方で、生活道路等における安全対策を計画的に実施しており、事業目的の達成に必要な経費として適切に執行されている。 令和5年:5学区5路線、交差点改良 令和6年:9学区15路線、歩道整備 令和7年:7学区11路線、歩道整備	
今後の事業 の方向性	道路管理者、教育委員会、警察が連携して実施している通学路合同点検を引き続き実施し、安全確保に資する取り組みを行う。 交通管理者及び道路管理者の連携を目的とする交通問題対策部会で抽出された事故多発箇所等の課題について、改善に向けた対策の検討・調整を行い、必要な取り組みを行う。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	2	目	4	説明資料	51	項目番号	1
事務事業名	よこすか海岸通りリニューアル事業								所管部課名	建設部		
										道路整備課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和13年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	道路法							
実施計画	大柱	歴史や文化・スポーツを生かしたにぎわいの再興				分野別計画		
	中柱	音楽やダンス・エンターテインメントによるにぎわいの創出						
	小柱	③うみかぜ公園周辺のにぎわいづくり						
目標	よこすか海岸通りをより一層「市民に愛され、市民が誇れる道」にリニューアルする。まずは、1期区間から楽しく快適に歩きたくなる歩行者空間を整備し、地域のにぎわいを創出するための基盤を構築する。							
目標達成に必要なこと	・歩行者利便増進道路の指定 ・利便増進誘導区域の指定 ・公安委員会の意見聴取 ・歩道改良工事							
具体的な事業内容	歩行者利便増進道路の整備 【計画】 延長L=900m 幅員W=14m ・歩行者、自転車動線の確保 ・鬱蒼とした緑道廃止と維持管理費削減 ・歩行者利便増進に係る施設整備 ・道路移動等円滑化基準の遵守(バリアフリー化)							

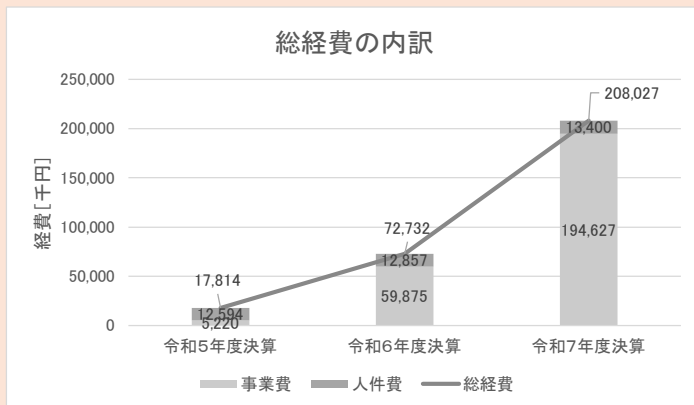
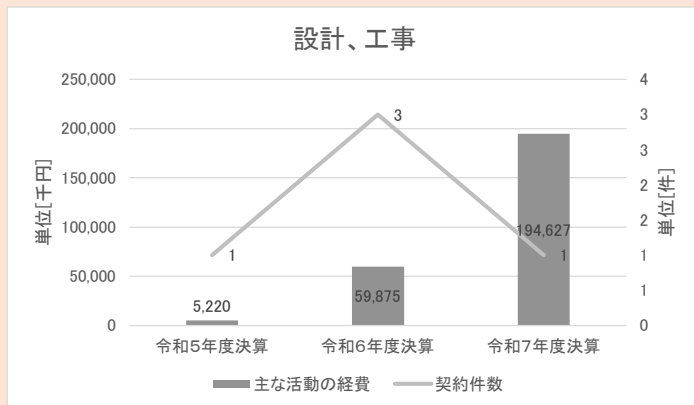
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 設計、工事	契約件数	1	3	1	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
② 関係部署会議(事業全体)	会議回数	5	0	0	回
③ 公安委員会等協議、利便増進道路等指定	指定、協議等件数	3	0	0	件

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,220	59,875	194,627	194,627	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	5,220	59,875	194,627	194,627	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	12,594	12,857	13,400	13,280	千円
正規職員	1.5	1.5	1.5	1.5	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	17,814	72,732	208,027	207,907	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	I期事業区間完了
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	設計及び工事の進捗状況により必要経費は変動しているが、令和7年度に第1期事業区間が完了し、歩行者の安全性・利便性の向上が図られたことから、適切に執行している。 令和5年度： 詳細設計1件、関係部署会議5回(整備方針等)、公安委員会等協議2回、利便増進道路指定 令和6年度： 歩道改築工事3件 令和7年度： 歩道改築工事1件		
今後の事業 の方向性	【実績】 I期区間:工事進捗率100% 【残事業】 II期区間 II期区間は、I期区間の利用状況等を踏まえて関係部署と整備方針を整理し、事業化に向けた検討を進めていく。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	2	説明資料	59	項目番号	1
事務事業名	市内環状線街路改良事業								所管部課名	建設部		
										道路整備課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和8年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	道路法、都市計画法							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画		
	中柱	都市基盤の整備						
	小柱							
目標	通学路交通安全プログラムに基づく点検結果を踏まえて公表された危険個所の安全対策(両側歩道設置及び交差点改良)を行うことで、通学路の安全確保を目指す。							
目標達成に必要なこと	・道路事業用地の取得 ・道路改良工事の実施							
具体的な事業内容	街路整備の実施 【計画】 延長L=190m 幅員W=18m							

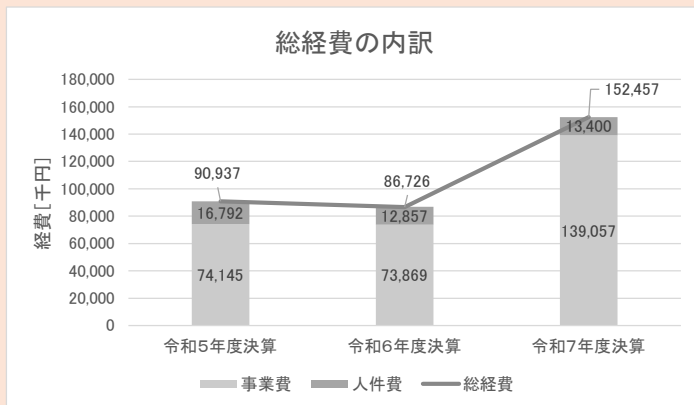
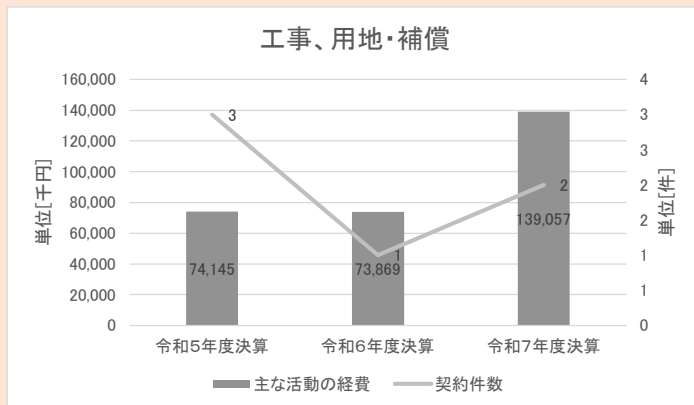
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動（指標）名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 工事、用地・補償	契約件数	3	1	2	件
その他の活動実績	活動（指標）名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
② 国道管理者等協議				1	件
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	74,145	73,869	139,057	140,023	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	74,145	73,869	139,057	140,023	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	16,792	12,857	13,400	13,280	千円
正規職員	2.0	1.5	1.5	1.5	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	90,937	86,726	152,457	153,303	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	特になし
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	施工範囲や施工内容、用地買収・補償の進捗により年度間の事業費は変動しているが、令和8年度事業完了に向け、必要な整備を進めており、適切に執行されている。 令和5年度： 街路改良舗装工事1件、用地取得1件、補償1件、事業認可の更新 令和6年度： 街路改良舗装工事1件 令和7年度： 街路改良舗装工事2件		
今後の事業 の方向性	令和8年度(供用開始)の事業完了を目指す。 【実績】 事業用地取得率100%、工事進捗率73%、事業全体進捗率94% 【残事業】 歩車道整備工事104/190m×2、確定測量		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	2	説明資料	59	項目番号	1
事務事業名	追浜夏島線整備事業								所管部課名	建設部		
										道路整備課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱	①追浜駅周辺のまちづくり					
目標	国道357号の延伸に伴い、国道357号と国道16号を結ぶ市道追浜夏島線の交通量は増加すると予想され、交通量に見合った拡幅整備を行うとともに、追浜駅前付近の円滑な流れや安全確保に向けた、デッキ整備も併せて、国道357号完成までに追浜夏島線を整備する。						
目標達成に必要なこと	道路拡幅計画を立案し、計画案に基づく警察協議、地元周知及び用地・補償交渉を並行して進め、現況幅員18mから23mへの拡幅を行う道路整備工事を実施する。						
具体的な事業内容	追浜夏島線拡幅整備及び追浜夏島線歩行者デッキの設計、工事						

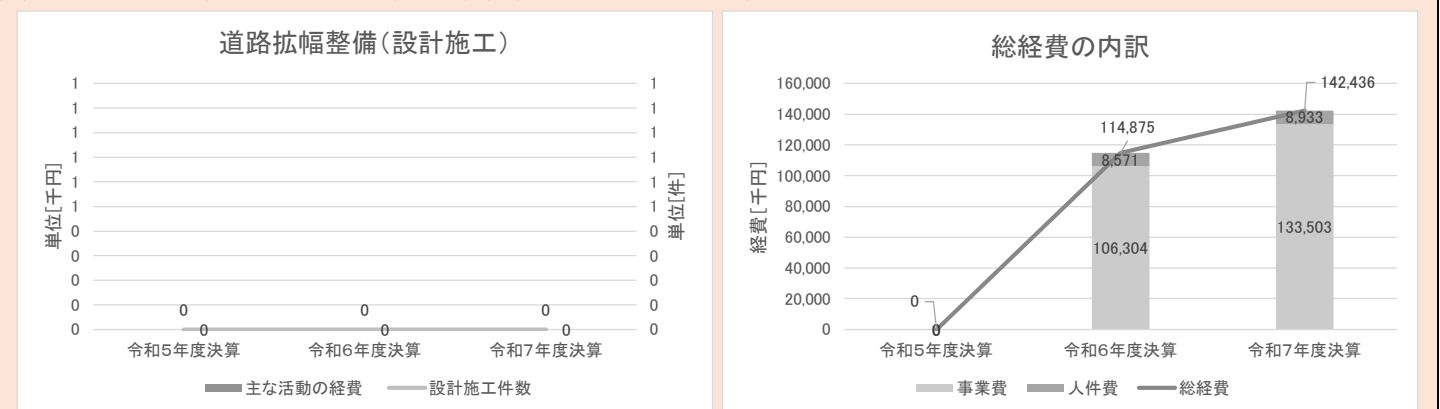
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 道路拡幅整備(設計施工)	設計施工件数	0	0	0	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
② ペDESTリアンデッキ整備(設計施工)	設計施工件数	0	1	2	件
③ 用地補償	用地補償件数	0	0	0	件

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	106,304	133,503	174,400	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）					千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）		106,304	133,503	174,400	千円
b 人件費	0	8,571	8,933	8,853	千円
正規職員		1.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）		0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）		0	0	0	千円
総経費（a + b）	0	114,875	142,436	183,253	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	令和6年度は、追浜夏島線横断デッキ詳細設計、国道16号横断デッキ詳細設計、及び詳細設計に係る土質調査を計上。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	令和7年度は、令和6年度から繰越した追浜夏島線横断デッキ詳細設計、国道16号横断デッキ詳細設計、及び詳細設計に係る土質調査を実施。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	令和5年度に着手した追浜夏島線縦断デッキ詳細設計は、占用物支障に伴う基礎形状の見直しを行い、令和6年度に竣工。 令和6年度に着手した同横断デッキ詳細設計および国道16号縦断デッキ詳細設計については、関係機関との調整に不測の時間を要したこと から、令和7年度に繰越して実施している。 再開発事業の進捗状況及び関係機関との調整により年度間の事業費は変動しているが、再開発事業との整合を図りながら、必要な詳細設計 を順次実施している。 今後も関係機関との調整を進め、歩行者デッキ整備の円滑な推進に努める。		
今後の事業 の方向性	追浜駅前再開発事業は、再開発事業及びバスタ事業の進捗に併せ事業を進めている。 追浜夏島線拡幅整備は、今年の6月に追浜夏島線の関連事業である「追浜駅交通結節点整備事業」の計画が示されたことから、追浜夏島線 の拡幅整備についても、早期完成を目指す。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業		会計	一般会計		款	9	項	5	目	4	説明資料	67	項目番号	2(2)
事務事業名	猿島公園管理事業										所管部課名	建設部		
												公園緑地課(公園整備担当)		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	歴史や文化・スポーツを生かしたにぎわいの再興				分野別計画	
	中柱	ルートミュージアムのさらなる強化					
	小柱	①ティボディエ邸と周辺の仕掛けづくり					
目標	近年の来園者の増加に伴い、既存トイレの浄化処理能力が不足していることから、新たにトイレを新築し、利用者に快適なサービスを提供するものである。						
目標達成に必要なこと	猿島公園のトイレ新築及び継続的な施設の改修						
具体的な事業内容	既存トイレの負荷低減と不具合を生じている島内施設の再整備を行う。						

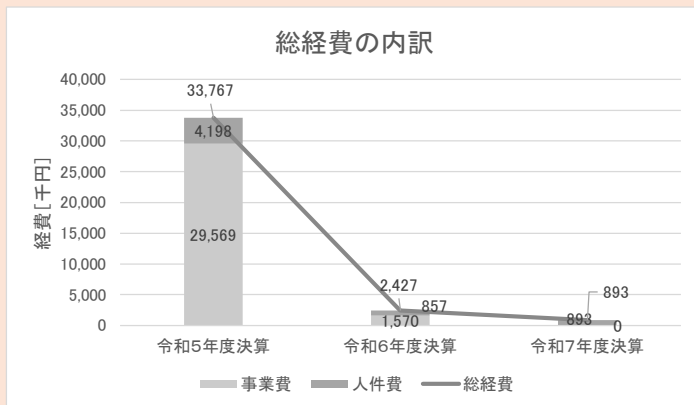
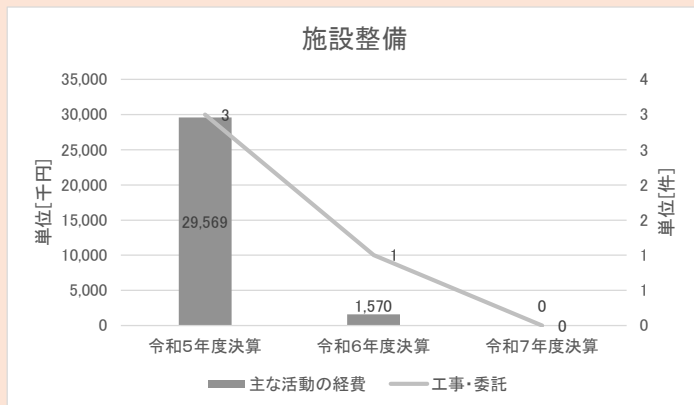
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 施設整備	工事・委託	3	1	0	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	29,569	1,570	0	0	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	29,569	1,570	0	0	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	4,198	857	893	885	千円
正規職員	0.5	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	33,767	2,427	893	885	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	ウッドデッキ改修工事の完了 測量業務の実施	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	実績なし
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	令和5年度 管理棟ウッドデッキ改修工事、猿島砲台跡第二砲台塁道危険箇所対策工事、猿島砲台跡第二砲台塁道道路線測量業務 令和6年度 基準点測量業務 令和7年度 実績なし		
今後の事業 の方向性	猿島公園の来園者数はこの数年で約1.5倍になり、利用者増に合わせた利便性を維持できない状態を迎えており、また、自然災害発生に伴う崩落などにより公開を一時的に中止している箇所も複数ある。市内外から来園者を継続的に呼び込むためにも、安全で快適な環境の提供が必須であり、本市有数の観光資源に見合った改修を行う。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業		会計	一般会計		款	9	項	5	目	5	説明資料	77.78	項目番号	3
事務事業名	公園リニューアル事業										所管部課名	建設部		
												公園緑地課(公園整備担当)		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	未来につながる環境の保全・創出				分野別計画	
	中柱	公園の整備・活用					
	小柱	③公園の計画的な維持管理					
目標	既設公園及び緑地の諸施設のリニューアルを行い、利用者に快適な公園を提供する						
目標達成に必要なこと	地元調整、補助金の取得						
具体的な事業内容	吉井4丁目公園遊具設置工事、森崎公園遊具設置工事、大矢部第2公園遊具設置ほか工事、佐島の丘公園遊具設置工事、緒明山公園遊具設置工事、ハイランド5丁目公園ほか1公園整備工事、安針台公園ベンチ設置工事、田の浦公園整備工事、久里浜公園整備工事、田の浦公園境界復元測量業務、公園のストック再編事業に関するワークショップ開催関係業務						

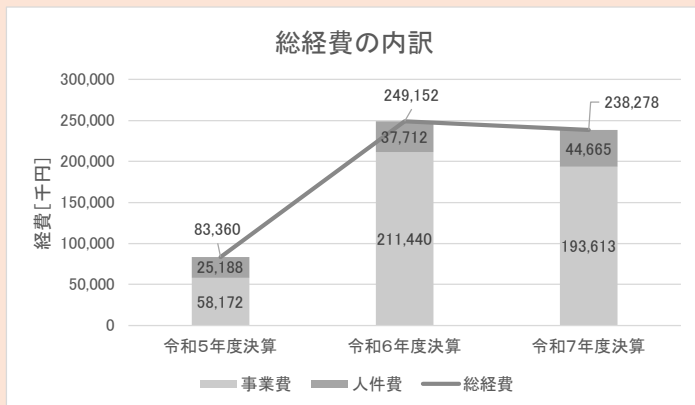
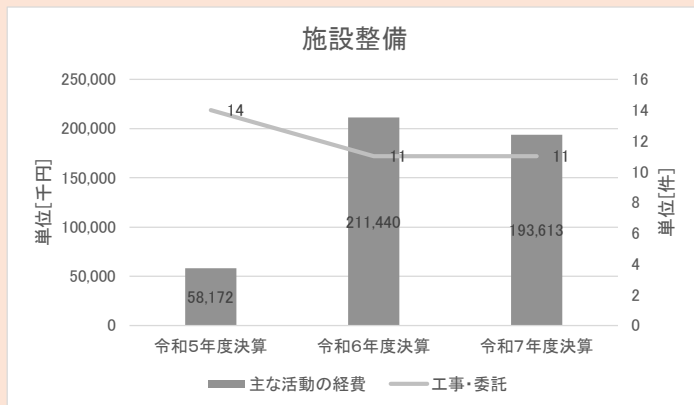
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 施設整備	工事・委託	14	11	11	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	58,172	211,440	193,613	196,842	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	58,172	211,440	193,613	196,842	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	25,188	37,712	44,665	44,265	千円
正規職員	3.0	4.4	5.0	5.0	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	83,360	249,152	238,278	241,107	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R 5 年度⇒R 6 年度	プール解体工事の実施	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R 6 年度⇒R 7 年度	公園のストック再編事業に関するワークショップ開催
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	令和5年度 池田1丁目公園遊具設置工事ほか13件 令和6年度 浦郷公園ほか3公園ベンチ設置工事ほか10件 令和7年度 吉井4丁目公園遊具設置工事ほか10件		
今後の事業 の方向性	誰もが安全で安心して利用できる公園を目指し、公園のバリアフリー化や老朽化した遊具の改修、公園施設の充実を進める。これにより、横須賀市のイメージアップを図るとともに、多様化する現代の利用者ニーズに対応した魅力的で安全な施設を提供し、市民サービスの向上を目指す。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	大矢部みどりの公園整備運営事業	所管部課名	建設部
			公園緑地課(公園活用推進担当)

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和9年度
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	未来につながる環境の保全・創出				分野別計画	
	中柱	公園の整備・活用					
	小柱	①新たな公園の整備					
目標	大矢部弾庫跡地について、民間連携手法を活用し、豊かな自然と歴史資源を活かした公園・緑地として整備するとともに、民間収益施設を設置し、交流拠点や防災拠点としての活用、ウェルビーイングの実現や活発な市民の交流を促す。						
目標達成に必要なこと	地域住民、関係機関との連携と合意形成、財源(国庫補助)の取得						
具体的な事業内容	大矢部弾庫跡地活用に係る民官連携事業者選定業務委託 基盤施設設計建設業務						

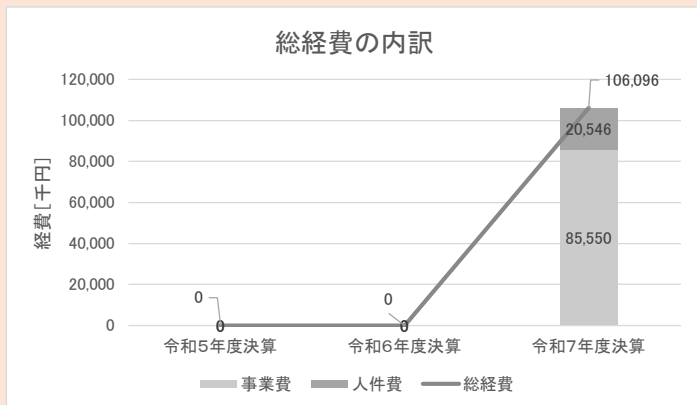
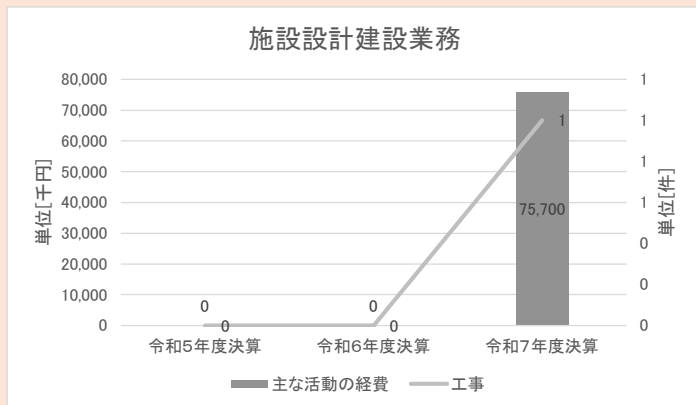
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動（指標）名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 施設設計建設業務	工事			1	件
その他の活動実績	活動（指標）名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
② 民官連携事業者選定業務	委託			1	件
③					件

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	0	85,550	960,298	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）			75,700	950,424	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）			9,850	9,874	千円
b 人件費	0	0	20,546	24,788	千円
正規職員			2.3	2.8	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	0	0	106,096	985,086	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R 5 年度⇒R 6 年度	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R 6 年度⇒R 7 年度	令和6年度は埋蔵文化財調査および事業者選考を実施しており、令和7年度より整備を開始しています。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増減理由等)	主な活動の経費については、令和7年度の後半に施設設計建設業務を契約締結したことから、予算の大半を翌年度に繰越しているため、執行額が少なくなっています。	
今後の事業の方向性	令和7年度に事業者が決定し、設計および施設整備を行い、令和10年4月のオープンを目指します。	

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	79.80	項目番号	3
事務事業名	大規模集客公園施設改修事業								所管部課名	建設部		
										公園緑地課(公園整備担当)		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	未来につなぐ環境の保全・創出				分野別計画	
	中柱	公園の整備・活用					
	小柱	③公園の計画的な維持管理					
目標	既設公園及び緑地の諸施設のリニューアルを行い、利用者に快適な公園を提供する。						
目標達成に必要なこと	地元住民、公園利用者及び指定管理者との合意形成、助成金の活用						
具体的な事業内容	4大拠点を中心とした公園の施設を改修する。						

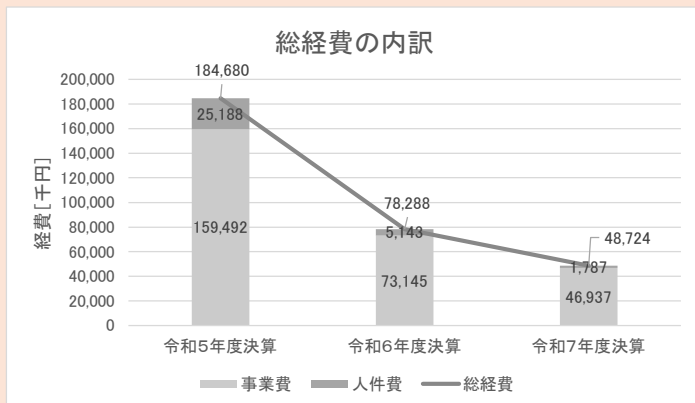
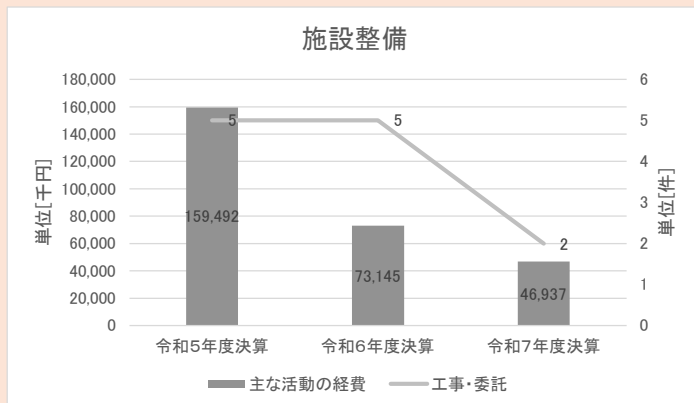
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 施設整備	工事・委託	5	5	2	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	159,492	73,145	46,937	78,380	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	159,492	73,145	46,937	78,380	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	25,188	5,143	1,787	1,771	千円
正規職員	3.0	0.6	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	184,680	78,288	48,724	80,151	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	長井海の手公園エントランス棟建具改修工事の完了 ヴェルニー公園安全柵改修(第1工区)工事の実施	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	くりはま花の国ゴジラすべり台塗装改修工事の完了 ヴェルニー公園安全柵改修(第2工区)工事の実施
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	令和5年度 【追浜公園】硬式野球場音響設備改修実施設計業務、横須賀スタジアム音響・非常放送設備改修工事、 硬式野球場人工芝改修工事 【長井海の手公園】じゃぶじゃぶ池ろ過設備改修工事、エントランス棟建具改修工事 令和6年度 【ヴェルニー公園】安全柵改修工事に伴う設計業務委託、安全柵改修工事(第1工区)、トイレ電気設備改修工事 【追浜公園】トイレ建替工事設計業務委託 【くりはま花の国】ゴジラすべり台塗装改修工事 令和7年度 【ヴェルニー公園】安全柵改修工事(第2工区)、安全柵改修工事に伴う設計業務委託		
今後の事業 の方向性	4大拠点公園を中心とした公園施設の老朽化に伴い、各所に不具合が生じている。そのため、今後も利用者が施設を安定的に利用できるよう、 継続的に改修する。		

令和 8 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	5	説明資料	79.80	項目番号	3
事務事業名	地域拠点公園施設改修事業								所管部課名	建設部		
										公園緑地課(公園整備担当)		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	未来につなぐ環境の保全・創出				分野別計画	
	中柱	公園の整備・活用					
	小柱	③公園の計画的な維持管理					
目標	既設公園及び緑地の諸施設のリニューアルを行い、利用者に快適な公園を提供する。						
目標達成に必要なこと	地元住民、公園利用者及び指定管理者との合意形成、助成金の活用						
具体的な事業内容	拠点となる公園やサテライト公園を中心とした公園の施設を改修する。						

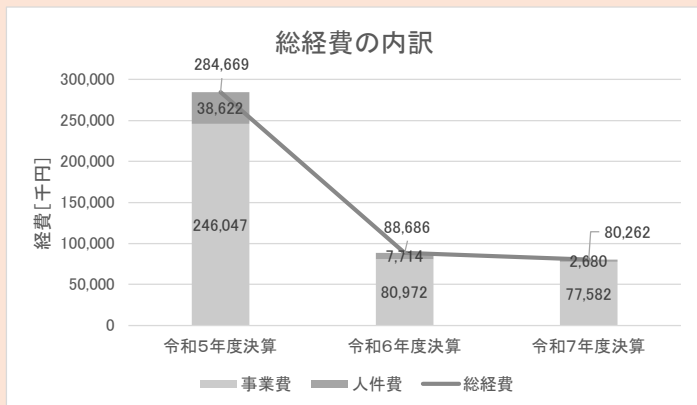
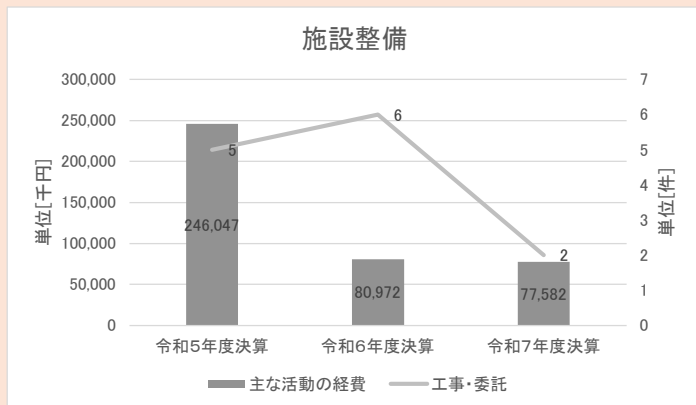
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
① 施設整備	工事・委託	5	6	2	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度決算	令和 7 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	246,047	80,972	77,582	202,441	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	246,047	80,972	77,582	202,441	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	38,622	7,714	2,680	2,656	千円
正規職員	4.6	0.9	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	284,669	88,686	80,262	205,097	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R5年度⇒R6年度	佐原2丁目公園人工芝改修工事の完了 湘南国際村西公園フェンス改修工事の実施	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R6年度⇒R7年度	田浦梅の里法面保護工事の完了 愛宕山公園整備工事の実施
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	令和5年度 佐原2丁目公園リーフスタジアム人工芝改修工事、不入斗公園陸上競技場改修工事 長坂緑地トイレ新築工事、長坂緑地上水道敷設工事、長坂緑地上水道敷設工事に伴う測量業務 令和6年度 走水水源地公園排水ポンプ改修工事、走水水源地公園下部排水ポンプに関する水運用システム切断作業負担金 愛宕山公園整備に伴う設計業務委託、愛宕山公園整備に伴う測量業務委託 湘南国際村西公園フェンス改修工事、田浦梅の里法面保護工事 令和7年度 愛宕山公園整備工事、光の丘水辺公園駐車場整備工事		
今後の事業 の方向性	拠点となる公園やサテライト公園は、公園施設の老朽化が進んでいる。そのため、今後も利用者が施設を安定的に利用できるよう、継続的に改修する。		